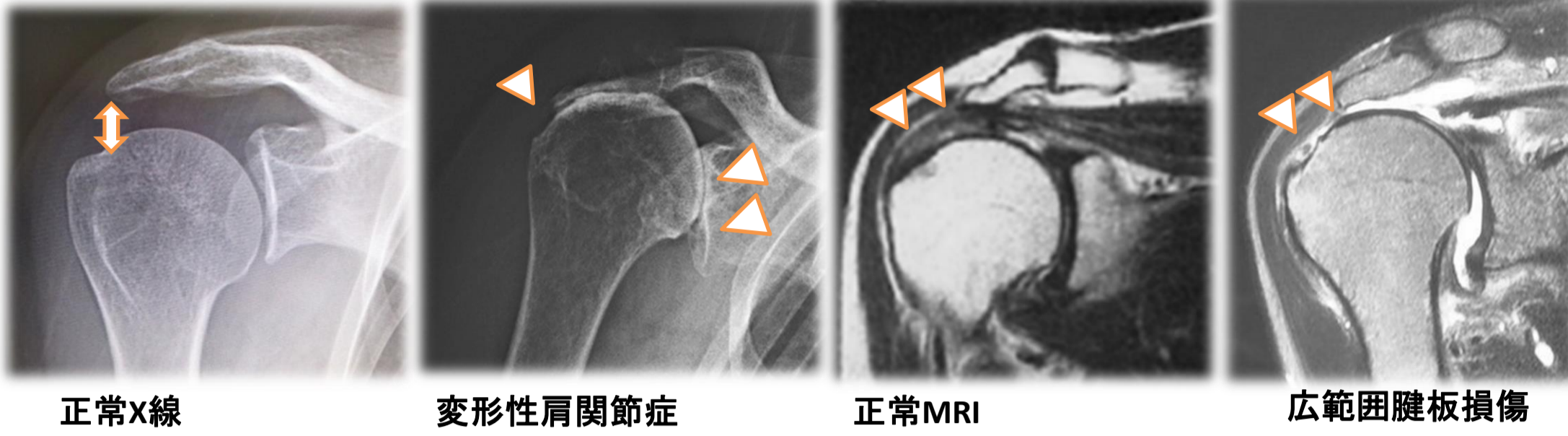


## Q1. 人工肩関節置換術って何？手術の適応は？

- 広範囲腱板損傷、骨折後の変形などに対して人工肩関節置換術が適応になります。
- ①人工肩関節全置換術、②リバーstype人工肩関節置換術が主に用いられます。



正常X線

変形性肩関節症

正常MRI

広範囲腱板損傷

年齢、骨、腱板断裂、残存する筋肉の状態、関節の変形により適切な機種を選択します。

### ①人工肩関節全置換術

腱板断裂のない変形性肩関節症、若年の関節リウマチが主に適応になります。

### ②リバーstype人工肩関節置換術

拳上不能な広範囲腱板断裂、骨折後の変形癒合等が適応になります。年齢等の諸条件があります。



## Q3. 手術はどのように行っているの？手術の利点、欠点は？

- 約15cm前後の皮膚切開を行います。
- 人工関節を挿入するために骨切りを行います。必要に応じて骨移植を要する場合があります。
- 手術時間は術式や骨軟部組織の状態で異なりますが、1時間30分から3時間程度です

### 手術で得られる効果

- 疼痛緩和
- 可動域改善
- \* 状態により個人差あり

### 合併症

- ✓ 術後感染
- ✓ 経年変化による緩み
- ✓ 再置換の可能性
- ✓ 出血、神経障害、脱臼、骨折など
- ✓ 抗生剤、セメント、金属のアレルギー

## Q4. どのように麻酔をしているの？術後の痛み止めは？

- 経験豊富な麻酔科医の管理のもと、全身麻酔に神経ブロックや鎮痛剤持続皮下注射を併用して麻酔を行っています。

**全身麻酔:** 病棟で点滴を留置します。手術室で点滴から薬をいれて眠った状態で手術を行います。

**腕神経ブロック:** 全身麻酔に加えて、首の付け根にブロック注射をして肩から腕にいく神経を麻酔します。このブロックにより、最も痛みの感じる術後12時間はほとんど痛みを感じることはありません。

**持続皮下注射:** 鎮痛剤を持続的に皮下に注入することで術後24時間の痛みを緩和します。

**痛み止め:** 退院まで食後と寝る前に鎮痛薬を内服します。痛みが強い場合は筋肉注射や坐薬を追加します。



神経ブロック  
(超音波併用)

## Q5. 入院期間は？

- 通常、5泊6日の入院で、術後4日目に退院となります。(※ 空床状況により変動することもあります。)

### 初日(術前日)

装具合わせ、手術側わきの剃毛  
入浴・リハビリ術前評価

### 2日目(手術当日)

手術  
術後3時間で歩行・飲食許可

### 3日目～5日目(手術翌日～3日目)

リハビリ開始、創部消毒(ドレーン抜去)  
更衣・シャワー・装具着脱訓練

### 6日目(術後4日目)

リハビリ  
退院

## Q6. 退院後の生活は？装具をいつまで装着するの？

**更衣・入浴:** 退院直後から自分自身で可能となります。(正しい方法を入院中に指導します)

**リハビリ:** 術翌日より開始し、退院後は通院リハビリとなります。

**抜糸:** 術後10日目頃に外来で行います。(※抜糸前は傷口の汚染に注意してください)

**装具:** 約4週間継続します。

**運転:** 装具がはずれてから可能となります。



## Q7. 術後のスケジュールは？

### ➢ 仕事復帰に関して

術後約1ヶ月間はある程度の痛みを伴います。デスクワークであれば、退院後すぐに許可しておりますが、注意を要します。軽作業から重労働の場合は、職場や社会環境により異なりますので仕事復帰の時期に関しては医師と相談してください。

### ➢ スポーツ復帰に関して

手術をした組織の修復には約3ヶ月を要するため、肩に負担のかかる運動は少なくとも術後約3ヶ月以降となります。年齢、術後の回復具合により異なりますが、スポーツ復帰はおおむね5～6ヶ月以降が目安です。医師や理学療法士と相談して段階的に復帰を目指します。

### ➢ 通院について

原則、術後2年間は診察を継続し、肩の状態を定期的に確認しております。